

平成21年度東北農政局長賞

たきがわけいこくのうさんぶつちよくばいじよ ふくしまけんやまつりまち 『滝川渓谷農産物直売所』（福島県矢祭町）

【位置】



【むらづくりの経緯・動機等】

○滝川渓谷農産物直売所は、福島県矢祭町の南東部に位置している。○地域は、農業生産条件も悪く、小学校の廃校や離農、人口流出が続いていたが、少しでも活性化に繋がればとの思いから、地域住民の代表者からなる東山地区活性化委員会の役員が中心となり、「滝川渓谷農産物直売所」を平成14年に設立し、活力ある農村の育成と地域社会の形成を図ることを目指して活動を始めた。

【推進体制】

○滝川渓谷農産物直売所は、活力ある農村の育成と地域社会の形成を図ることを目的として10名の会員により構成されている。○直売所では、そばを主とした飲食店営業、農産物の直売を実施している。また、東山地区活性化委員会、近隣の宿泊施設等と連携による地域活性化の取組活動を実施している。

【地区の概要】

項目	内容	
規模	集落の集合体（4集落）	
性格	機能的な集団	
農家率 （内訳）	総世帯数	71 % 63 戸
	農家数	45 戸
販売農家数 （内訳）	専業農家	45 戸 2 戸
	I 種農家	2 戸
	II 種農家	41 戸
主要作物 （作付面積）	水稻	3 ha
	そば	1 ha
	ウド	0.5 ha
	サヤインゲン	0.2 ha
	鉢花	61,500 鉢
※農家率、販売農家数は、当該地区 ※主要作物は、対象組織の会員		



【生産面への寄与状況】

○農業生産面では、直売所で提供する食事用としてそば栽培に取り組んだところ、栽培条件が適していたこともあり、遊休農地の3割程度が解消されるほど栽培面積が拡大した。○この直売所の設置、発展は、自給的栽培農家が中心であった農家会員の生産拡大、栽培意欲の増大につながっている。○また、地域の直売組織ネットワークへの

加盟により、積極的な消費者との交流活動も展開している。

【生活・環境整備面への寄与状況】

○生活・環境整備面では、滝川渓谷へ訪れる人が安全に散策できるよう遊歩道周辺の保安全管理活動や環境美化活動をボランティアで実施したり、近隣の宿泊施設と連携し、民芸品づくりやそば打ち体験メニューの提供など都市農村交流の取組も行っている。○直売所の主役である主婦たちの活動が、地元産そばや滝川渓谷の魅力を高める役割を果たしているとともに、地域雇用や農村女性の生きがいくりの面でも重要な役割を果たしており、現在では、滝川渓谷だけでなく、直売所自体が観光資源となるなど、町全体へ効果が波及している。

